



「ワンコイン浸水センサ」を用いた広域防災の実証

(6つの自治体の浸水情報を加古川市のWebサイトで確認)

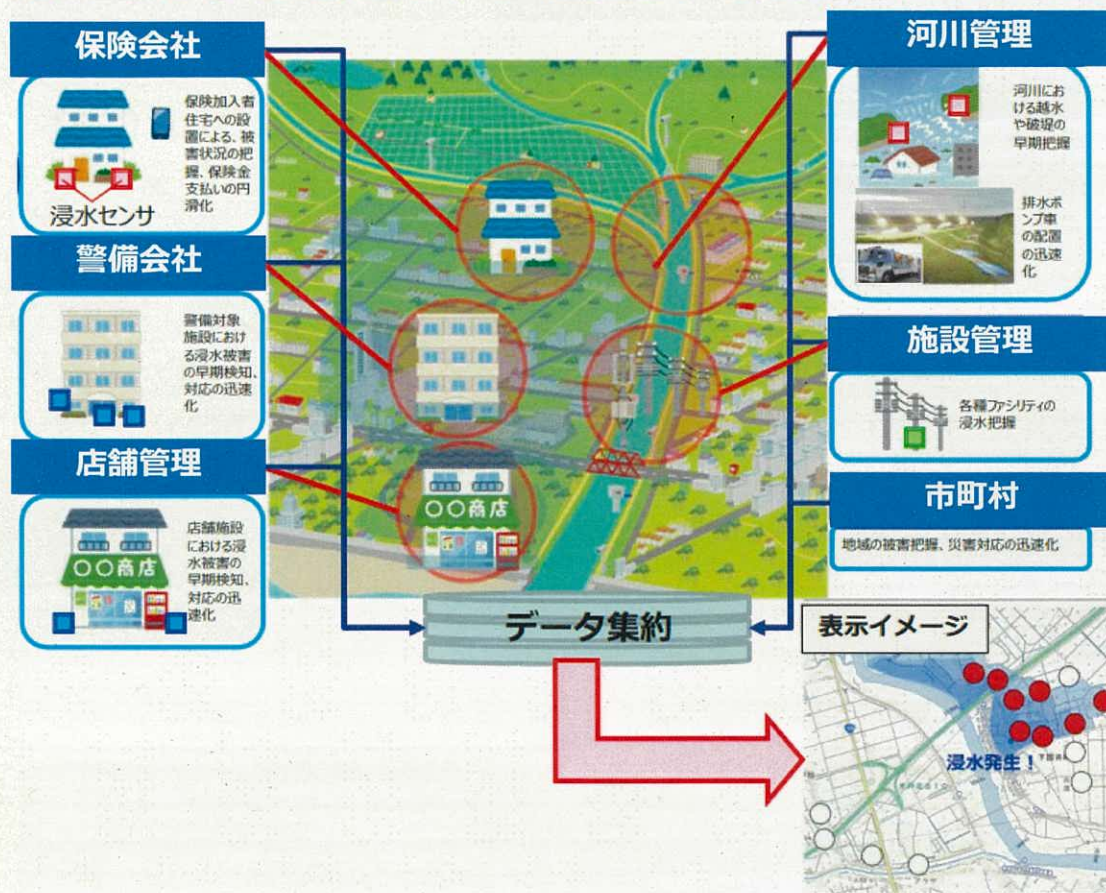
主催	加古川市、三田市、西脇市、小野市、加東市、播磨町
日時	令和6年3月1日(金)開始
内容	<p>スマートシティを推進する加古川市が主導し、令和4年度から三田市と連携を開始し、今年度は加古川流域の自治体(三田市、西脇市、小野市、加東市、播磨町)に連携を拡大して、広域での減災及び治水対応力の向上を目指した実証を国土交通省の支援を受けて実施します。</p> <p>今回、実証に参加する各市町が設置した「ワンコイン浸水センサ」のデータを当市の「行政情報ダッシュボード」に表示し、各市町において浸水被害発生時の迅速な対応に活用するための効果検証を行います。将来的に一般公開することを目指しています。</p> <p>【行政情報ダッシュボードの表示イメージ】</p>  <p>■凡例</p> <p> 平常時  センサ反応時</p> <p>【実証期間】 令和6年3月1日から令和7年3月31日まで(予定) (<input type="checkbox"/> 初めて <input type="checkbox"/> 恒例 <input checked="" type="checkbox"/> 回目)</p> 
目的・背景 その他	<p>国土交通省では、近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっていることから、国・自治体・民間企業等の様々な関係者が「小型・長寿命・低コスト」の「ワンコイン浸水センサ」を多数設置し、浸水状況を面的にリアルタイムで把握する仕組みの構築に向けて、センサの特性や情報共有の有効性等の実証を実施しています。当市でも同様の課題を認識し、国土交通省が実施する実証に参加しています。</p>
市ホームページ	掲載済み ・ <input type="checkbox"/> 掲載予定(3月1日) ・ <input type="checkbox"/> 掲載しない
広報かこがわ	●月号に掲載 ・ ●月号に掲載予定 ・ <input type="checkbox"/> 掲載しない



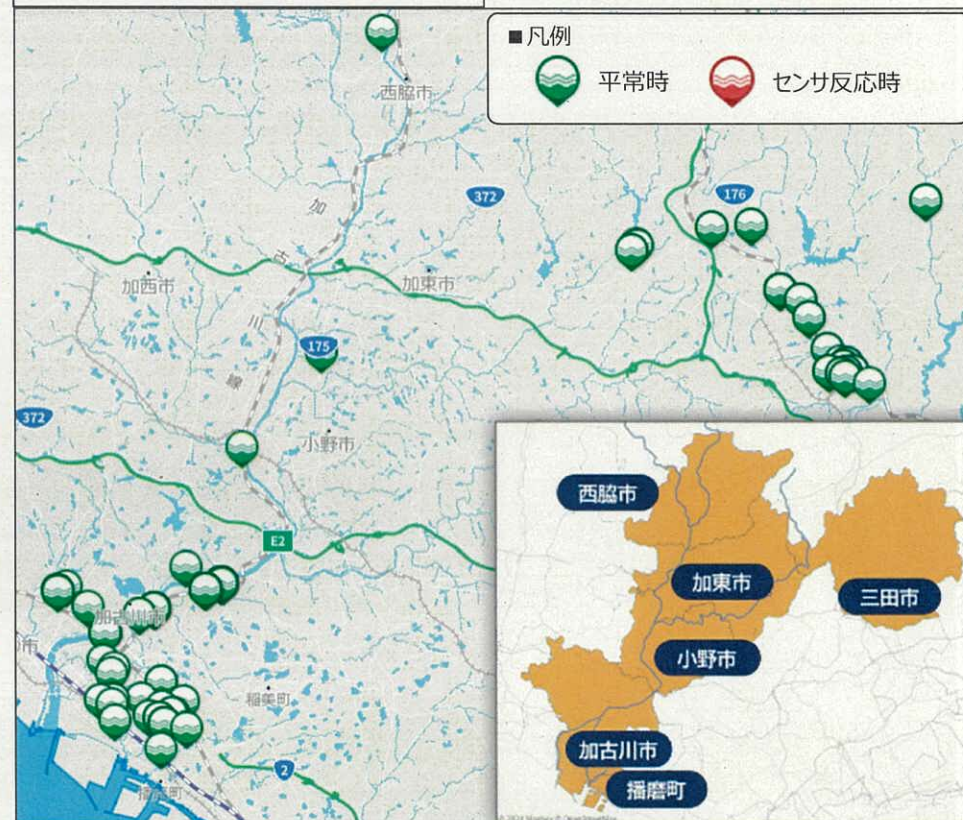
ワンコイン浸水センサを用いた広域防災の取組



浸水センサを設置し、水位上昇時には迅速に災害情報を伝達



加古川市行政情報ダッシュボード



ワンコイン浸水センサの設置例



国土交通省から提供を受けているセンサ

■ 京セラコミュニケーションシステム株式会社 計6台



■ 株式会社リプロ 計11台



令和4年度から民間企業が設置しているセンサ

■ 中央大学研究開発機構 計3台
(大塚ウエルネスベンディング株式会社)



■ 東京海上日動火災保険株式会社
(応用地質株式会社) 計3台



■ オプテックス株式会社 計5台

